



第99期 報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第99期の報告書をお届けいたしますので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

当社の概況につきましては、以下にご報告申し上げる通りでございます。

昨年来から続く原材料価格の高騰を受け、製品価格への転嫁、生産の合理化および不採算製品からの撤退など徹底した収益改善に努めてまいりました。しかしながら、原材料価格の上昇がそれらの効果を大きく上回ったこと、また設備投資に伴う減価償却費が増大したことから、引き続き収益を圧迫する大きな要因となりました。

今後は製品価格への転嫁、生産及び業務の合理化はもとより、更なる新商品の開発、新市場の開拓にも邁進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成20年 6月
代表取締役社長 山田 次夫

1. 当期の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、継続的な原油・原材料価格の高騰による影響や、米国のサブプライム問題に端を発した金融市場の混乱、更には円高基調の為替動向や株安などの要因も重なり、景気は次第に先行き不透明感を強めながら推移してまいりました。

当社グループにおきましては、昨年来から高騰を続けている原材料価格の影響を受け、収益圧迫の大きな要因となりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高372億98百万円（前期比8.5%増）、経常利益2億8百万円（前期比82.3%減）、当期純利益3億77百万円（前期比46.4%減）となりました。

部門別	売上高 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
軽包装部門	15,843	42.5	114.2
産業資材部門	8,495	22.8	102.8
機能性材料部門	11,948	32.0	111.9
その他	1,011	2.7	64.9
合計	37,298	100.0	108.5

2. 部門別営業の概況

当期における部門別営業の概況につきましては、次の通りであります。

（軽包装部門）

当部門におきましては、中国からの輸入食品に対する消費者不安が広がり、冷凍食品離れの影響で電子レンジ対応袋（レンジDo!）をはじめ、食品包装分野の営業活動に苦戦を強いられました。

一方で前連結会計年度より注力して参りました非食品分野への展開が奏功し、環境対応製品のエア緩衝材（エアロテクト）の売上増が軽包装部門全体の売上確保へ大きく寄与いたしました。

しかしながら引き続き原材料価格の上昇は製品価格

転嫁、生産の効率化による効果を大きく上回り、収益性へ影響を及ぼしました。

今後、尚一層の合理化による生産コストの削減と更なる非食品分野への展開を進め、利益の確保を図ってまいります。

（産業資材部門）

当部門におきましては、原材料の高騰、市場の成熟により利益確保が難しい状況でしたが製品価格への転嫁、生産の効率化、不採算製品からの撤退を含めた生産品目の見直しにより収益性確保に努めました。

今後は、奈良工場にVOC（揮発性有機化合物）排出規制対策として設置しました無溶剤型シリコン塗工機の本格稼働の他、袋井・奈良・野木（東邦樹脂工業㈱）の三工場連携生産、新規開発品目の拡販、新たなニーズへの取り組みにて更なる生産、販売活動の効率化を進めてまいります。

（機能性材料部門）

当部門におきましては、光学関連用途マスキングフィルムへの需要増大に対応して掛川工場に第2工場を建設しました。当連結会計年度はこの第2工場の立ち上げ、生産体制の確立に注力してまいりました。

一方で顧客である液晶パネル部材メーカーの在庫調整等、需要の変動に翻弄され、当初に期待された販売数量を確保することができませんでしたが、売上の拡大基調は継続しています。

しかしながら、顧客からのコストダウン要求は厳しく、製品価格への転嫁は思うようには進みませんでした。

今後、光学関連市場はさらに継続成長することが見込まれます。顧客の要求品質レベルの高度化、コストダウンへの要望に対応するため、研究技術、生産、営業が一体となり生産の効率化、新品目の開発、新規顧客の獲得に努め収益性改善に取り組んでまいります。

3. 今後の対処すべき課題

当社を取り巻く現状につきましては、金融市場の混乱、米国を始めとする世界経済の不安定な動向、原油価格のさらなる高騰の危惧が予想され、先行き不透明な状況で推移すると思われれます。

このような環境下にあつて、当社グループでは社会の変化に対応した企業体質の改善、収益構造の安定を図り、新規需要・市場の開拓に邁進し、顧客に満足される製品を提供してまいります。

軽包装部門は、非食品分野への営業活動を展開するとともに、新機能をもつ包装材料の開発に取り組んでまいります。

産業資材部門は、生産の合理化、原材料調達の見直しによるコストダウン等で顧客満足のでられる価格体系を構築し、より一層の利益確保を目指します。

機能性材料部門は、光学関連市場は今後とも拡大していくと予想されます。

当社グループにおきましても拡大する市場に対応するため、掛川工場の第2工場を完成し99期下期より稼働を開始致しました。また、新規需要の開拓を進め収益性の向上に努めて参ります。

株主ならびに関係者の皆様の、今後一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	2,895,912	3,538,811
受取手形及び売掛金	13,261,406	12,136,350
たな卸資産	5,100,575	4,850,251
その他	521,108	343,345
流動資産合計	21,779,003	20,868,758
建物及び構築物	4,307,141	3,274,857
機械装置及び運搬具	4,703,154	3,776,718
土地	1,768,331	1,718,331
その他	414,027	3,205,723
有形固定資産合計	11,192,653	11,975,631
無形固定資産合計	95,989	19,792
投資有価証券	2,914,342	3,981,694
その他	727,311	626,356
投資その他の資産合計	3,641,653	4,608,051
固定資産合計	14,930,296	16,603,474
資産合計	36,709,300	37,472,233

科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
負債の部		
支払手形及び買掛金	8,980,119	7,873,197
短期借入金	4,093,000	3,423,000
その他	2,606,271	4,490,627
流動負債合計	15,679,390	15,786,824
社債	300,000	276,000
長期借入金	2,611,250	2,863,850
退職給付引当金	789,810	733,359
その他	484,608	584,470
固定負債合計	4,185,669	4,457,679
負債合計	19,865,059	20,244,504
純資産の部		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,135,839	2,135,839
利益剰余金	11,949,761	11,776,249
自己株式	△4,642	△4,601
株主資本合計	16,256,959	16,083,486
評価・換算差額等合計	471,727	1,030,432
少数株主持分合計	115,553	113,808
純資産合計	16,844,240	17,227,728
負債、純資産合計	36,709,300	37,472,233

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
売上高	37,298,323	34,380,632
売上原価	34,103,858	30,168,640
売上総利益	3,194,465	4,211,992
販売費及び一般管理費	3,047,090	3,116,309
営業利益	147,375	1,095,682
営業外収益	201,246	185,787
受取利息	8,560	5,981
受取配当金	62,499	54,461
その他	130,187	125,344
営業外費用	139,973	103,023
支払利息	130,649	92,059
その他	9,324	10,963
経常利益	208,648	1,178,447
特別利益	519,702	32,469
特別損失	47,620	27,034
税金等調整前当期純利益	680,730	1,183,883
法人税、住民税及び事業税	300,984	481,620
少数株主利益（減算）	2,593	—
少数株主損失（加算）	—	1,571
当期純利益	377,152	703,834

連結株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日 残高	2,176,000	2,135,839	11,776,249	△4,601	16,083,486
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△203,639		△203,639
当期純利益			377,152		377,152
自己株式の取得				△40	△40
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	173,512	△40	173,472
平成20年3月31日 残高	2,176,000	2,135,839	11,949,761	△4,642	16,256,959

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日 残高	1,030,432	1,030,432	113,808	17,227,728
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△203,639
当期純利益				377,152
自己株式の取得				△40
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△558,705	△558,705	1,744	△556,960
連結会計年度中の変動額合計	△558,705	△558,705	1,744	△383,488
平成20年3月31日 残高	471,727	471,727	115,553	16,844,240

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,591,104	442,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,448,763	△1,903,048
財務活動によるキャッシュ・フロー	214,762	1,299,776
現金及び現金同等物の増減額	△642,896	△161,223
現金及び現金同等物の期首残高	3,539,407	3,700,631
現金及び現金同等物の期末残高	2,896,510	3,539,407

単体財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

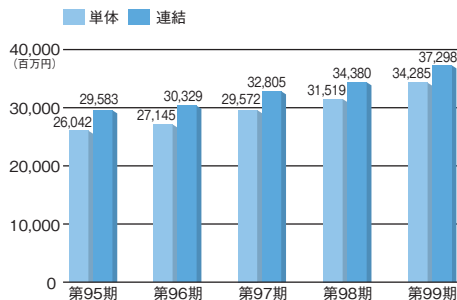
科目	当期	前期
	(平成20年3月31日現在)	(平成19年3月31日現在)
資産の部		
現金及び預金	2,655,244	3,202,968
受取手形及び売掛金	12,319,060	11,330,316
たな卸資産	4,620,611	4,391,286
その他	492,912	244,485
流動資産合計	20,087,829	19,169,056
建物及び構築物	4,058,255	3,024,440
機械装置及び運搬具	4,355,811	3,375,304
土地	1,317,765	1,267,765
その他	388,788	3,194,993
有形固定資産合計	10,120,620	10,862,503
無形固定資産合計	15,462	9,879
投資有価証券	2,817,605	3,870,384
その他	1,369,817	1,263,266
投資その他の資産合計	4,187,422	5,133,650
固定資産合計	14,323,506	16,006,034
資産合計	34,411,335	35,175,090
負債の部		
支払手形及び買掛金	8,460,524	7,460,081
短期借入金	3,623,000	2,823,000
その他	2,268,202	4,154,107
流動負債合計	14,351,726	14,437,189
社債	300,000	240,000
長期借入金	2,414,450	2,649,450
退職給付引当金	664,199	602,293
その他	362,263	526,525
固定負債合計	3,740,913	4,018,269
負債合計	18,092,640	18,455,458
純資産の部		
株主資本合計	15,846,741	15,696,613
評価・換算差額等合計	471,953	1,023,017
純資産合計	16,318,695	16,719,631
負債、純資産合計	34,411,335	35,175,090

損益計算書

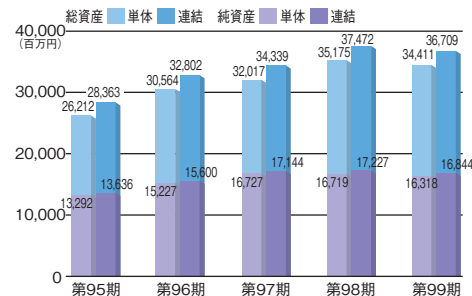
(単位：千円)

科目	当期	前期
	(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)	(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)
売上高	34,285,295	31,519,409
売上原価	31,490,251	27,680,482
売上総利益	2,795,044	3,838,927
販売費及び一般管理費	2,676,333	2,744,777
営業利益	118,711	1,094,150
営業外収益	186,045	185,427
受取利息	6,489	4,388
受取配当金	62,074	58,670
その他	117,482	122,368
営業外費用	126,012	91,744
支払利息	112,376	76,594
その他	13,636	15,149
経常利益	178,744	1,187,833
特別利益	518,763	29,895
特別損失	42,047	23,437
税引前当期純利益	655,460	1,194,290
法人税、住民税及び事業税	301,652	471,816
当期純利益	353,807	722,474

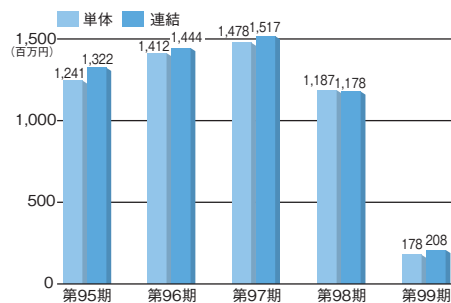
●売上高



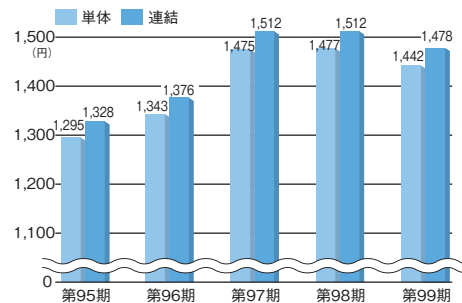
●総資産・純資産



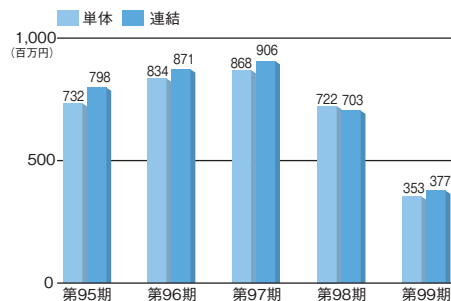
●経常利益



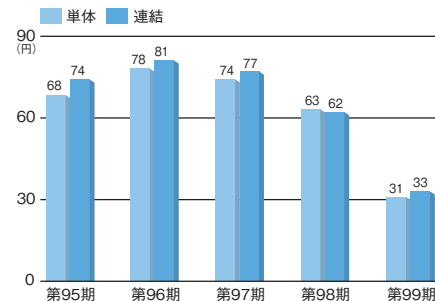
●1株当たり純資産額



●当期純利益



●1株当たり当期純利益



Topics

次世代型緩衝材

エア緩衝材で世界初の完全密封・完全自動包装を確立した『エアロテクト®』と倉庫用荷崩れ防止の『サンネージ®』。これらは空気を利用した緩衝材のため、包装材倉庫として利用していたスペースの削減を図れるだけでなく、省人化、省時間による大幅なコストダウンを実現。

また使用後は空気を抜くだけでコンパクトに廃棄できる商品設計となっており、ゴミの減量化、CO₂排出量の削減にも大きく貢献しております。当社では、今後も環境に配慮した商品の開発に努めてまいります。



貼り合せサービス開始

当社では、表面保護フィルム『サニテクト®』の技術力と研究のノウハウを生かし、クリーン環境下での“貼り合せサービス”を開始いたしました。

貼り合せサービスは、お客様からご支給いただいた各種部材フィルムにプロテクトフィルムや光学粘着フィルムなどをラミネートするばかりでなく、ご要望に応じてスリットや検品なども行い、一貫した加工をご提供してまいります。



■株式の状況

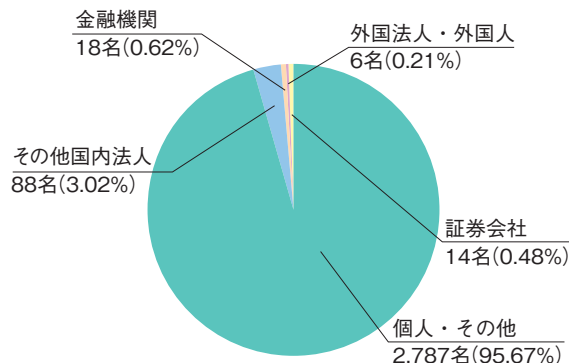
- 発行可能株式総数…………… 45,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 11,320,000株
- 株主数…………… 2,913名

■大株主の状況

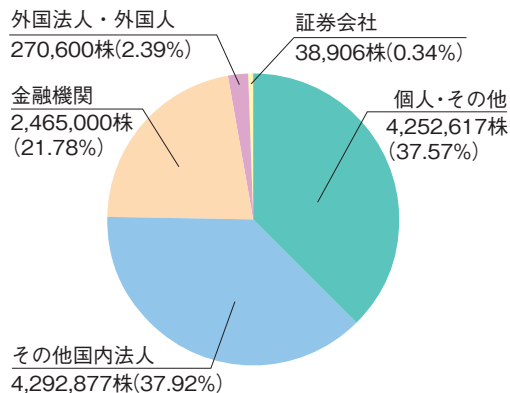
大株主	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
新生紙パルプ商事株式会社	1,812,200	16.0
昭和ボックス株式会社	1,244,200	10.9
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	473,900	4.1
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	364,900	3.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	350,000	3.0
みずほ信託退職給付信託昭和ボックス口 再信託受託者資産管理サービス信託	300,000	2.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・昭和ボックス株口)	300,000	2.6
サンエー化研社員持株会	287,100	2.5
双日プラネット株式会社	227,000	2.0
株式会社みずほ銀行	200,000	1.7

(注) 出資比率は自己株式(6,777株)を控除して計算しております。

■所有者別株主数



■所有者別株式数

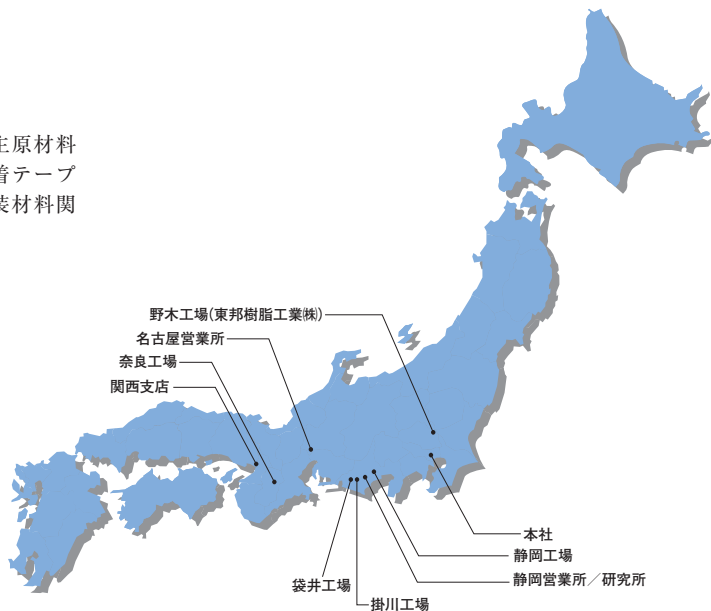


概要 (平成20年3月31日現在)

商号 株式会社サンエー化研
本社所在地 東京都中央区日本橋本町1-7-4
設立 昭和17年9月
資本金 21億76百万円
従業員数 693名
主な事業内容 紙、プラスチック、金属箔等を主原材料として軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護フィルム等、包装材料関連製品の製造と販売

役員 (平成20年6月26日現在)

代表取締役社長	山田 次 夫
常務取締役	角田 幸 保
常務取締役	林 喜久雄
取締役	武 智利文
取締役	藤 岡 宣 隆
取締役	藤 岡 貞 章
常勤監査役	大 嶋 幹 夫
監査役	藤 原 暉 昭
監査役	佐 藤 隆



当社ホームページのご紹介

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、業務内容や最新の企業情報、新開発製品などについてお知らせするホームページを開設しています。

ホームページアドレス：<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	3月31日
配当金支払い株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、 あらかじめ公告する一定の日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 (〒137-8081)
電話お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711 (フリーダイヤル) 自動音声応答サービス 0120-244-479 〔住所変更、配当金振込指定、変更に必要な各用紙、および〕 〔株式の相続手続依頼書のご請求を24時間承っております。〕
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告の方法	電子公告 (当社ホームページ) 但し、やむを得ない事由で、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載
単元未満株式買取り請求所	株主名簿管理人の事務取扱所および同取次所

 **株式会社 サンエー化研**
Sun A. Kaken Company, Limited.

東京都中央区日本橋本町1-7-4
TEL.03-3241-5701 FAX.03-3241-5719

<http://www.sun-a-kaken.co.jp/>